

会 議 録

会 議 名 (付属機関等名)		令和7年度 第4回川西市参画と協働のまちづくり推進会議	
事 務 局 (担当課)		参画協働課	
開 催 日 時		令和7年 12月15日(月) 午後7時から午後8時 30 分	
開 催 場 所		川西市役所 4階 庁議室	
出席者	委 員	岩崎恭典、田中晃代、西原千佳子、松原利明、久保田啓子、川瀬美由紀、後藤由紀江、渡辺千尋	
	そ の 他	(オブザーバー) 市民活動センター スーパーバイザー 三井ハルコ	
	事 務 局	小西公室長、西川副公室長、 橋川参画協働課長、大宮同課長補佐、長見同課主査、 暮部同課主任	
傍聴の可否		可	傍聴者数 2
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		1 開 会 2 議 事 (1)答 申 3 そ の 他 4 閉 会	

19 : 00～

1 開会

○事務局

川西市参画と協働のまちづくり推進条例第 10 条の規定により、本会議は公開となる。

出席委員は、2 名欠席、1 名は遅れて参加予定。現在の定数は 11 名中 8 名となっており、川西市参画と協働のまちづくり推進条例施行規則第 7 条第 2 項の規定により、本日の会議は有効に成立しております。

本日は、川西市市民活動センタースーパーバイザー 三井ハルコ様がゲストスピーカーとして出席。

本日使用する資料の確認

答申、答申鑑

参考資料：明峰コミュニティニュース、令和 6 年度川西市参画と協働のまちづくり推進に関する取組状況

2 議事

(1) 答申

コミュニティ組織が地域課題の解決に取り組むにあたり、より効果的な活動となる交付金のあり方について、岩崎会長より越田市長に対して答申。答申書を越田市長へ手交。

○岩崎会長

委員の皆さんには、何度も細かいところまで答申に目を通していただき、本日、市長に答申をすることができました。まずは、皆さんにお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

ただ、この答申は始まりです。この会議がスタートした時、コミュニティは長い間ずっと

活動してきたはずなのに、コミュニティが何なのか、どういう活動をしているのか全然知らないという意見が皆さんから出ました。

交付金を制度化した時には、コミュニティもかなり気合いを入れて動いていたのですが、活動が忙しくなる中で、どうしても去年やったことを今年もそのままやるような動きも生じており、なおかつコロナ禍で、3年ほど何も活動ができないような状況もあった。

地域課題をみんなで発見して、それをどう解決していくべきなのかを話し合い、その結果を地域別計画にまとめて、みんなで解決に取り組む。その活動に対して一括交付金を交付するという当初のあり方が、少し忘れられてしまっている状況だということが、私も皆さんと議論をする中で改めてよく分かりました。

ではそれをどう打開していくのかというのが、この答申の4ページある「4つの視点」に繋がっているわけです。

まずは自分も当事者であるということを知ってもらうことを前提として、コミュニティの運営としては、活動の振り返りと効果検証をしっかりとおこなったうえで、地域課題解決の促進をしないといけないということが1つ目の視点。

それから、有償活動の整理。この会議で何回も申し上げましたが、無償で地域活動をするというのは、昔であれば尊いことだったのですが、それだけではなかなか厳しい状況になってきているわけですから、有償活動のあり方みたいなものは、少し整理をしておく必要があります。

また、コミュニティ活動の参加にあたっては、その単位構成や関わりのあり方というものを考えていく必要もあります。そして最後に、コミュニティ・交付金の周知ということも課題として捉えなければならないという視点になっています。

この答申は、市への提言ではありますが、そこにコミュニティ組織への提言という形がプラスされている。コミュニティ組織への提言は、言い換えれば市民の皆さんに対して、こうあるべきではないかということを投げかけているのだと言ってもよいと思っています。

推進会議として、市とコミュニティ組織の2つの方向に対して提言をおこなったというのは、この答申の大きな特色であると思っています。

そうではありますが、4つの視点に共通する市の役割という形で、市として特に留意が必

要であると考えた、行政間の連携や、地域にある企業とコミュニティの結び付け、そして学校や企業などとの相互支援といったこともしっかりと考えていく必要があるのではないか、ということ、市の役割として特出しもさせていただきました。

「おわりに」の部分には、住民の誰もが地域課題解決の担い手として、積極的に関与することが川西市のまちづくりには欠かせないものであるということを伝え続けていかなければいけない、そのために交付金があるのだということを記して締めさせていただきました。

市はこの答申を受け、これから具体的な計画を作っていただけるのだと思っておりますので、またそれを色々と議論をしていければよいのではないかと感じています。

簡単であります、概要をご説明させていただきました。

○越田市長

岩崎会長、田中副会長、委員の皆様方におかれましては、1年以上の長きにわたり議論をいただき、今日答申をいただきましたこと、まずは心からお礼を申し上げます。

ただ、ひとつ残念だったことは、今年3月に藤本副会長がお亡くなりになられたことです。今日この場所にいていただけないということが本当に残念ではありますが、藤本副会長の想いもこの答申には込められているのだと考え、受け止めたいと思います。

まず、この答申が特徴的だと感じることのひとつに、審議会の答申ですので当然、我々市に対してこうするべきだということをお伝えいただくことに期待をしたものですが、その部分はしっかりと様々な視点で盛り込んでいただけたことに加え、正直私たちからはなかなか言いにくい部分である、コミュニティ組織も自ら動くべき、変わるべきではないかという、市民自身が自ら動き、変わるという視点が盛り込まれている事です。

客観的な立場で、実際に様々な活動をされている皆さま方から、こういったご提言をいただいたというのは非常に重く受け止めています。

一括交付金制度も10年を越える歴史になりました。当初の熱量を、地域の力でずっと支え続け、大きな役割を担っていただいたという評価ができる反面、やはり10年が経過すると、制度として少しうまくいかなかった部分、思いが伝わらなくなった部分、歪みが出てきた部分、当初想定していなかったことで変更すべき部分など、良い制度を作り続けるため

には、変わらなければいけない部分もあるのだということを、改めて実感いたしました。

特に地域活動は、担い手の高齢化に人手不足、定年延長といったこともあり、なかなか地域に人材が来ないという状況があり、それをボランティアで継続するのが難しいという課題があるのは確かだと思います。

ただ、やはり川西市を良くするためには、市が一方的に答えを決めるのではなく、地域が主体となって自らの課題を自らで解決する、住民同士の熟議によって物事を1つずつ作り上げて課題を解決していくという川西市にしていかなければいけないということを、この答申をいただいて感じているところです。

この答申をいただいたことは、私たちとしてもスタートであると捉え、これからしっかりといい答えを見つけるために、悩み、汗をかきながら、市民の皆さんや、ここにおられる委員の皆さんとご相談をさせていただき、一緒に前に進めていきたいと思いますので、答申はいただきましたが、引き続き皆様方には力強いご支援とご協力をいただきますことを心からお願いを申し上げまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。

○事務局

岩崎会長、越田市長ありがとうございました。

事務局よりご案内をさせていただきたいことがございます。

今回皆さまよりいただいた答申を基に、今後市では令和8年度よりアクションプランの作成に取り組み、施策等を具現化し、市の総合計画とも連携を図りながら見直しを実施していく予定としております。

そこで皆様をお願いをさせていただきたいのですが、令和8年度よりアクションプランの作成に取り掛かるにあたり、これまで深めていただいた知識を活かし、引き続き当推進会議へ委員としてご参加をいただけないかと考えております。

もちろん、皆さまのご都合等もございますので、改めて意向確認等をさせていただきますが、ぜひ引き続きご協力をいただければ幸いです。ご検討いただきますよう、お願い申し上げます。

3 その他

越田市長との歓談

4 閉会

○事務局

越田市長、委員の皆さま本日はありがとうございました。

最後に事務局より連絡がございます。まず、本日机上に配付しております「令和6年度川西市参画と協働のまちづくり推進に関する取組状況」の資料につきまして簡単にご説明させていただきます。

ご参加いただいている推進会議以外にも、川西市ではタウンミーティングやワークショップなど、市民の皆さんと一緒にまちづくりを進めていくための取り組みを行っており、この資料はそのような取り組みに関する昨年度の報告資料となります。今後も継続して取り組み周知して参りますので、委員の皆さまも、様々な機会にご参加いただければと思います。

令和6年9月より長きに渡り、様々なご意見や議論をいただきましたこと、改めてお礼申し上げます。また、冒頭でご説明させていただいたとおり、令和8年度の推進会議へのご参加の意向確認は改めて郵送等をさせていただきますので、ぜひご参加いただき、引き続きご議論をいただけることを楽しみにしております。

この度は、参画と協働のまちづくり推進会議にご参加いただき、本当にありがとうございました。

これをもちまして、令和7年度第4回川西市参画と協働のまちづくり推進会議を終了いたします。本日はありがとうございました。

(終了)